

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

(国 語 ・ 書 写) 小委員会委員長

浅 沼 珠 恵



<p>調 査 研 究 ・ 審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議の対象となった発行者名及び数 ・ 東京書籍、教育出版、光村図書の 3 者</p> <p>2 調査研究の手順 ・ 第 1 回調査委員会（7 月 5 日）で 3 者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・ 第 2 回調査委員会（8 月 3 日、4 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2～6 を作成した。</p> <p>3 調査研究のための観点、項目 ・ 取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、という視点で調査し整理した。 ・ 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか、という視点で調査し整理した。 ・ 内容の程度・排列については、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか、という視点で調査し整理した。 ・ 使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高める工夫がされているか、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされているか、目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか、という視点で調査し整理した。</p>
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>1 東京書籍については、リーフレットや実験記録の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫に特色があり、優れている。 教育出版については、俳句や話し合いメモの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫に特色があり、優れている。 光村図書については、手紙や横書きの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫に特色があり、優れている。</p> <p>2 このほか、3 者とも、見やすさ等に配慮した UD に配慮するとともに、1 人 1 台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られているなどの話題も出された。</p>

書写の目標について

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学年・領域等の目標など】

〔知識及び技能〕の「(3) 我が国の言語文化に関する事項」のうち、書写に関する事項

〔第1学年及び第2学年〕

- (ア) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。
- (イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。
- (ウ) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。

〔第3学年及び第4学年〕

- (ア) 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。
- (イ) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
- (ウ) 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。

〔第5学年及び第6学年〕

- (ア) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。
- (イ) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。
- (ウ) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

【参考】

○ 目標の改善

国語科で育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」と規定するとともに、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。また、このような資質・能力を育成するためには、児童が「言葉による見方・考え方」を働かせることが必要であることを示している。

学年の目標についても、従前、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の領域ごとに示していた目標を、教科の目標と同様に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。

○ 標準授業時数

毛筆を使用する書写の指導に担当する授業時数は、第3学年以上に「年間30単位時間程度」とする。

様式3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年	書写・106	新編 あたらしい しよしゃ 一
		第2学年	書写・206	新編 新しい しよしゃ 二
		第3学年	書写・306	新編 新しい書写 三
		第4学年	書写・406	新編 新しい書写 四
		第5学年	書写・506	新編 新しい書写 五
		第6学年	書写・606	新編 新しい書写 六
取扱内容「学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等」、内容の構成・排列	○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。			
	第1,2学年～ とめ、はね、はらいなどの点画の書き方に気を付けて書いたり、整った文字を書くための書き方を考えたりする活動を通して、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書く活動			
	第3,4学年～ 文字の大きさと字間に気を付けて書いたり、行の中心を整えて書くための書き方を考えたりする活動を通して、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く活動			
	第5,6学年～ 横書きの行の整え方を確かめて書いたり、場面に合わせて書く速さを考えたりする活動を通して、用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書く活動			
	○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。			
	第3,4学年～ 点画それぞれの書き方や筆圧に注意して書いたり、点画の長さや間隔などを考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書く活動			
	第5,6学年～ 点画のつながりを意識して書いたり、文字と文字のつながりを考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動			
	○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。			
	第3,4学年～ 点画の種類や書き方、左右の部分の組み立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動			
	第5,6学年～ 筆順と点画の接し方、用紙に合った文字の大きさなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動			
○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。				
第1,2学年～ 「見つけよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「しよしゃのかぎ」(第2学年)を参考にして整った文字の書き方について考えたり、画の方向や間隔を確かめながら書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				
第3,4学年～ 「見つけよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、点画の書き方について筆圧を中心に話し合ったり、「書写のかぎ」(第3学年)を参考にして毛筆や鉛筆で文字を書いて確かめたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				
第5,6学年～ 「見つけよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、次の文字に向かう動きについて考えたことを話し合ったり、「書写のかぎ」(第6学年)を参考にして毛筆や鉛筆で文字を書いて確かめたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				
○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。				
第1学年～ 平仮名や片仮名について、「とめ、はらい、はね」などの点画の書き方を確かめた後に、漢字の点画の書き方や字形に気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫				
第2学年～ 漢字について、筆順や画の長さ、方向、つき方などを確かめた後に、文字の				

	<p>外形や中心を考えながら書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆について、1字の漢字の点画の書き方、筆圧を確かめた後に、2字の平仮名の送筆部分の丸みを考えながら書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 毛筆について、1字の漢字の画の長さや間隔、方向を確かめた後に、2字の漢字の筆順と字形、漢字の組み立て方を考えながら書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 文字の組み立て方や配列などを確かめた後に、目的に合った筆記具を選択し、様々な用紙に書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 点画のつながりや書く速さ、文字の組み立て方を確かめた後に、用紙に合った文字の大きさと余白、位置を考えて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ リーフレットや実験記録の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第3,5学年）、もののかたちからできた漢字のはなしを掲載したり（第1学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 当該学年の学びを他教科や学校生活に生かす単元「生活に 広げよう」を掲載したり（全学年）、さまざまな観点から文字文化に触れるコラム「文字といっしょに」を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用したり（全学年）、全ての児童の色覚特性に適応するようなデザインにしたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、毛筆の準備や文字の書き方の動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	書写・107 書写・207 書写・307 書写・407 書写・507 書写・607	しょうがく しょしゃ 一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ とめ、はね、はらいなどに気を付けて書いたり、どちらの形が整っているかを考えたりする活動を通して、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書く活動</p> <p>第3,4学年～ 「はらい」の方向に気を付けて書いたり、なぜ筆順どおりに書くことが大切なのかを考えたりする活動を通して、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く活動</p> <p>第5,6学年～ 用紙に対する文字の大きさと配列に気を付けて書いたり、目的に合った書く速さを考えたりする活動を通して、用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書く活動</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「横画」や「縦画」の筆使いに気を付けて書いたり、点画の接し方と間隔を考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書く活動</p> <p>第5,6学年～ 穂先の動きと、線と線のつながりに気を付けて書いたり、文字の大きさと配列、点画のつながりを考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 点画の種類や筆使い、左右や上下の文字の組み立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第5,6学年～ 漢字どうしの大きさ、用紙に対する文字の大きさと配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「めあて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考える」(第2学年)を参考にして画の方向の違いについて考えたり、左はらいの方向の違いに気を付けて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「めあて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「結び」の筆使いや形について考えたり、「ここが大切」(第4学年)を参考にして「結び」の筆使いを確かめて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「めあて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、目的に合った書く速さについて話し合ったり、「ここが大切」(第5学年)を参考にしてメモの取り方について確かめたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名や片仮名について、「とめ、はらい」などの点画の書き方や字形を確かめた後に、漢字の点画の書き方や字形に気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 片仮名や漢字について、筆順や画の方向、長さ、つき方などを確かめた後に、</p>			

	<p>文字の中心や形に気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆について、1字の漢字の点画の書き方、筆圧を確かめた後に、2字の平仮名のやわらかい筆使いに気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 毛筆について、1字の漢字の穂先の通り道や筆圧の変化を確かめた後に、2字の漢字の筆順と字形、漢字の組み立て方に気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 文字の組み立て方や大きさなどを確かめた後に、用紙に対する文字の大きさや配列を考えて、筆記具を工夫して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 文字の大きさと配列、文字の組み立て方を確かめた後に、用紙に対する文字の大きさと配列、点画のつながりに気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 俳句や話し合いメモの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第3,6学年）、視写の教材として国語で学習した文学教材を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 身に付けた書写の力を学習活動等に生かす題材「レッツ・トライ」を掲載したり（全学年）、多様な文字文化への関心を高める「知りたい文字の世界」を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 見やすさ等に配慮したユニバーサルデザインフォントを採用したり（全学年）、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、学習時に参照できる運筆動画等を、ウェブサイトで見られるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	<p>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年	書写・108	しよしゃ 一ねん
		第2学年	書写・208	しよしゃ 二年
		第3学年	書写・308	書写 三年
		第4学年	書写・408	書写 四年
		第5学年	書写・508	書写 五年
		第6学年	書写・608	書写 六年
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。			
	第1,2学年～	とめ、はね、はらいなどの点画の終わりに気を付けて書いたり、整った文字を書くためのきまりを考えたりする活動を通して、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書く活動		
	第3,4学年～	部分の組み立て方に気を付けて書いたり、文や文章を読みやすく書くための文字の大きさや配列を考えたりする活動を通して、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く活動		
	第5,6学年～	場面によって、書く速さを変えて書いたり、文字の大きさや配列を考えたりする活動を通して、用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書く活動		
	○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。			
	第3,4学年～	「横画」や「縦画」等の筆使いに気を付けて書いたり、部分の組み立て方を考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書く活動		
	第5,6学年～	筆順と画の付き方を意識して書いたり、文字と文字のつながりを考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動		
	○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。			
	第3,4学年～	点画の種類や筆使い、左右や上下の部分の組み立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動		
	第5,6学年～	点画のつながりと字形、筆順と点画のつながりなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動		
○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。				
第1,2学年～	「導入・理解」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、整った字の書き方について見付けたり、「たいせつ」(第2学年)を参考にして画の長さに気を付けて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			
第3,4学年～	「ねらい」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、穂先がどこを通るかを考えたり、「たいせつ」(第4学年)を参考にして「折れ」の筆使いを確かめて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			
第5,6学年～	「ねらい」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文字と文字のつながりが感じられる理由を話し合ったり、「たいせつ」(第6学年)を参考にして点画のつながりを意識して書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			
○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。				
第1学年～	平仮名や片仮名について、「とめ、はね、はらい」などの点画の書き方を確かめた後に、漢字の点画の書き方や字形に気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫			
第2学年～	漢字について、筆順や点画の間、画の長さ、つき方などを確かめた後に、文字の外形や中心に気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習			

	<p>できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆について、1字の漢字の点画の種類や筆使いを確かめた後に、2字の平仮名の丸みに気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 毛筆について、1字の漢字の上下左右の組み立て方を確かめた後に、漢字どうしの大きさに気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 文字の大きさと読みやすさを確かめた後に、文字の配列に注意して、筆記具を使い分けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 三つの部分をもつ漢字の組み立て方を確かめた後に、筆順と点画のつながりを意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手紙や横書きの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第3,4学年）、日常とのつながりが実感できる教材を掲載したり（第1学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 書写での学習を他教科に生かす教材「書写広げたい」を掲載したり（全学年）、書写で学んだことを生かして、日常の言葉や物語、短歌、俳句を書いて味わう「ことば」を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書体を使用したり（全学年）、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色にしたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、筆使いを確かめる動画やアニメーションを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

<書写の具体的な調査項目>

◎調査項目

- ① それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と総ページ数
- ② 硬筆と毛筆の関連を図っている教材数
- ③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数

◎調査項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 毛筆を使用する書写の指導においては、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう配慮することが求められていることから、硬筆と毛筆の関連を図った教材について把握する必要があるため。
- ③ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 6 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者	東書						教出						
				1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
①	それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と総ページ数	硬筆	指導事項ア	25	18	13	12	14	11	32	21	24	25	22	19	
			指導事項イ	21	16	6	5	10	8	30	19	13	16	10	10	
			指導事項ウ	4	13	8	8	4	6	21	19	9	12	22	19	
		毛筆	指導事項ア	—	—	10	9	11	9	—	—	13	16	15	15	
			指導事項イ	—	—	4	3	8	9	—	—	3	8	11	12	
			指導事項ウ	—	—	10	10	4	3	—	—	13	15	15	15	
		総ページ数			52	48	58	54	54	54	52	44	62	62	54	54
		前回の総ページ数			52	48	58	54	54	54	52	42	62	62	54	54
		増減 (%)			0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	0%
②	硬筆と毛筆の関連を図った教材数 (※ 1)		—	—	7	7	9	8	—	—	7	8	10	6		
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数		0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0		

(※ 1) 調査項目②「硬筆と毛筆の関連を図った教材数」は、毛筆の学習の後、硬筆によるなぞり書きや書き込み欄が位置付けられている教材や、毛筆や硬筆による筆記用具を選んで書く教材を対象とする。

様式5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式6にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者	光村						
				1	2	3	4	5	6	
①	それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と総ページ数	硬筆	指導事項ア	5	7	18	22	17	22	
			指導事項イ	24	23	8	14	13	14	
			指導事項ウ	3	17	16	14	8	13	
		毛筆	指導事項ア	—	—	15	14	10	16	
			指導事項イ	—	—	5	9	13	15	
			指導事項ウ	—	—	25	16	6	12	
		総ページ数			52	44	66	54	50	58
		前回の総ページ数			48	42	60	54	56	54
		増減 (%)			8%	5%	10%	0%	-11%	7%
②	硬筆と毛筆の関連を図った教材数 (※1)		—	—	11	9	9	8		
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数		1	0	0	0	2	1		

(※1) 調査項目②「硬筆と毛筆の関連を図った教材数」は、毛筆の学習の後、硬筆によるなぞり書きや書き込み欄が位置付けられている教材や、毛筆や硬筆による筆記用具を選んで書く教材を対象とする。

様式6

様式5の調査項目③「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者	内容	教科書の構成 (該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	2 年	年賀状と書きぞめ (P27)	文章	くしろ市大町九ちょう目八ー三 (年賀状の宛先)
	4 年	レッツ・トライ「敬老の日のはがき」 (P31)	文章	「北海道」の記述
光 村	1 年	もじ たんけんたい (P 3)	写真	札幌市立星置東小学校の校門の表示
	5 年	めざせ! 新聞記者 (P24～P25)	資料	イランカラプテ新聞 (国立アイヌ民族博物館において、アイヌ民族のくらしを題材とした手書きの新聞記事)
		都道府県漢字 (P37)	文章	「北海道」の記述
6 年	通信文を見てみよう (P38)	資料	発表用資料 (大通公園の雪まつり)	